

楽屋―流れざるものはやがてなつかしき― F

作…清水邦夫 上演台本…永妻晃

女優A 京子

女優B 美穂

女優C なつみ

女優D 文夏 G 奈緒

Bits
1

女優Aは頭に包帯を巻き、女優Bは首に包帯を巻いている。

女優A 『あたしは……かもめ』。

女優B 『いいえ、そうじゃない、あたしは、女優。そ、そうよ女優！ ……』

…』だつてき。

女優A まったく、あいつの、どこが、女優なのよ。

女優B そうよ、この小屋で10日も公演してるのに客席はがらがら。

女優A 当り前よあの演技じゃ。

女優B それに、「かもめ」のニーナやる歳じゃないよ。

女優A 五十よ。よくもニーナ役を……ね。

女優B 見て、ニーナさん、帽子忘れて行ったわ。

女優B、立ち上って、帽子を持ってくると、自分の椅子の上にボンと置くとその上に、尻をおろす。当然、帽子は無惨につぶれる。

女優C、慌てて戻ってくる。

女優C (捜す) 帽子……帽子……帽子…… (見つけた) あら……。

近づいて帽子を取ろうとする。

女優B、尻に力を入れてふんばる。

女優C どういうこと!?

女優C、さらに力を入れて帽子をひっぱる。そのとたん、

女優B、腰を浮かす。女優C、勢い余ってよろめく。

女優C もう我慢出来ない。明日から楽屋かえてもらおうわ。

女優B どうぞご勝手に。

女優C (二人のいるあたりを睨みつけて) ふん、いつだつてこの辺に、

何か腐った様な淀んだ空気がたまってるとんだから。

と、言い捨てて、女優C、そそくさと出ていく。

女優A 聞いた？

女優B 聞いた。

女優A あたしたちのこと、腐った様な淀んだ空気だって。

Bits 2

女優B それにしても、下品な帽子を被^{かぶ}ってたわね。あたしたちがやつた

た 頃はもつとエレガントを被ったものだわ。

女優A あたしたちがやった頃って、まるでニーナをやったような口ぶりじゃない。

女優B (傷ついて)前にも言っただろ、一度だけチャンスがあつたんだよ。

女優A 一度だけ？

女優B そういうあんたはどうなのさ。「ああ、あたしは永遠の裏方、俳優がセリフを忘れた時にせりふを教えるプロンプターだった」って……。

女優A ふん、今のお言葉、そっくりそのままお返しするよ。なんだい、バカにしゃがって、あたしにだってチャンスはあつたんだ、マクベス夫人の役。

Bits 3

女優B へえ、シエイクスピアのマクベス夫人……。

女優A そうよ、あれは旅公演の途中でさ。確か瀬戸内海のどこの町……マクベス夫人がさ、朝ままかりを食い過ぎちゃって、突然下痢、凄いのなのつたって、昼ごろにはもう危篤状態。なるほど、当然あんたにチャンスがまわってきた。

女優A あたしは、お守りにしていた笠間神社のお札を出して祈った、早く死ね！ 早くくたばれ！

Bits 4

女優B ところが夕方になると敵は奇跡的に持ち直した。

女優A そうじゃないの。

女優B そうじゃない!?

女優A 夕方になると、今度はあたしが猛烈な下痢……。

女優B あんたも、まま、かり？

女優A (うなずく) 避けられない運命だったのよ。だって、瀬戸内海へ行けば、誰だってままかりを食べるんだから。

女優B きつとあたしもダメね、避けられない運命を避けられたことがないのよオ。マクベス夫人か……あんたはいいよ、一度でもチャンスがあったんだから。あたしはなかった。マクベスの公演は、五十回以上もプロンプター付いたけど。

女優A じゃ、セリフは全部覚えてる？

女優B 覚えてるわよ……(マクベス夫人のセリフ『鳥の声までしわがれる、ダンカンが私の城へ運命の到来をするのを告げようとして。』

さあ、悪魔たち、この私を女でなくしておくれ、頭の天辺から爪先まで残忍な気持ちで満たしておくれ！ 憐れみ深い人情が訪れて、わたしの決意をゆさぶり、恐ろしい結果を生み出す邪魔をしないように』。

女優A ちよつと待ってよ。

Bits 5

女優B なに、せつかく人がいい気持ちでやってるのに……。

女優A ねえ、それ、戦後の翻訳？

女優B 戦後!?

女優A 違うんだよ、あたしの覚えているのと。

女優B どこが？

女優A どこって、頭っから。

女優A、ポーズをとる。それもどこか懐かしい。

女優A 『大鴉おおがらすの声もしわがれて、私のこの城へダンカン王ふじようの不祥りんきうの臨幸なを啼なき知らせる……』。

女優B 不祥の臨幸!?

女優A さあ、お前たち、弑逆しいぎやくの企みに伴う靈魔れいまども、来たりて私を女

でなくしておくれ、頭から足の爪先まで、獐猛じょうもうな残忍な心で一杯ほっほっにしておくれ！ 自然にそなわる憐みの情が思わず勃発して…

…』。

女優B 勃発!?

Bits 6

女優A、やめてしまう。

女優B 続けてよ、ねえ。

女優 A どうせあたしは古いんだよ。あんたより随分年齢としくってるし……
なんたって、憐れみの情が思わず勃発する時代だからねえ。

女優 B (慰めるように) 勃発だって、それとなく意味は通じるわよ。
それとなく?

女優 B まあ、こまやかさには若干欠けるけど。

女優 A どうせあたしは、こまやかさに欠けるんだよ、だから、永遠の
プロンプターだったんだ。

女優 B すぐこれなんだから。

女優 A 扱いにくいと思ってるんだろ、戦前の人間は。

Bits 7

女優 B あんた、永遠のプロンプターなんていうけど、時々は舞台に立つ
たんだろ、マクベス夫人とかまではいなくても。

女優 A そりやもちろん……貴族 A とか伝令 2 とか門番 3 とか。

女優 B あら、男ばっかし。

女優 A そうなのよ、戦争に男優はとられて不足していたからねえ。そう
いえば 博徒ばくとの役でも出たわ。

女優 B 博徒ってやくざ?

Bits 8

女優 A そう。三好十郎作、「斬られの仙太せんた」。もちろん、仙太じゃない
わよ。『まっぴらごめんねえ、おいら逃げも隠れもするこっちゃ
ござんせんがといていが、今夜のところあ、逃がしてもらいて
え、逃げてえのだ。へい、貸元衆かしもとしゆう！ お前さんちの前では口はば
つてえいい草だが、おいら人を斬るのは嫌れえだ。斬れもしねえ』
ま、格好いい、それがあんたのセリフ?

女優 A こいつは仙太のセリフ……『貸元衆、おりゃあ、ごらんの通り名
も戒名かいみょうもねえ渡り鳥。ホンのサツコン駆け出しの三ン下です』

女優 B ねえ、いつ出てくるの、あんた。

Bits 9

女優 A うるさいわねえ、もうちよつとよ……『お願えだ、貸元衆、同じ
無職むしやくの人間が口を聞いていると思やあ腹も立とうが、そうじゃね
え、百姓の子が火のつく様に泣いているのだ……今日の所あお見
逃し下せい、真壁村まかべの仙太郎、恩に着ますでござんす……』と、
そこへ下妻の滝次郎、ぱっと飛び出て来る」

女優B
ねえ。

女優A 『やかましいやい！ 仙太郎！ 口が縦に裂けやがったか！』

殺したくねえと？ なけりやこつちで殺してやらあ、それ、ぶつた斬れ！』

女優B
それがあんた？

女優A
違うわよ。

Bits
10

女優B
じゃ、まだ？

女優A
もう登場してるわよ。

女優B
え、どこに？

女優A
この、あたり辺にいるのよ。

女優B
この辺？

女優A
そう、この辺……下妻の滝次郎と一緒に飛び出して来てるの。ト書きで言えば、滝次郎、ぱつと飛び出す。と同時に博徒七人ザザツと飛び出して来る。みんな歯を喰いしばっていて無言である。

女優B
無言!?

Bits
11

女優A
そう、みんな歯を喰いしばって……でもあたし、仙太や滝次郎にもプロンプつけなくちゃならないのよ、だから、ト書き通りには行かなかったわよ。

女優B
そりやそうねえ。(歯を喰いしばって)こうやって、プロンプはつけにくいものねえ。

女優A
(夢みるように)けど、あの芝居は好きだった……お薦つたとかお妙たえとか素敵な女の役もあったけど、やっぱりグツときたのは斬られの仙太……。

女優B
(瞋みちめる)あんた、まさか。

Bits
12

女優A
まさか、なによ。

女優B
そのメイク。

女優A
メイクがどうかした？

女優B
あたしには、ずっと謎だったのよオ。

女優A
だから、何が。

女優B
あんたの永遠の役。

女優A
えッ?

女優B
「斬られの仙太」?

女優A
よしてよ、あたしこれでも女優だよ、やっぱり女の役がいいよ。
そういうあんたの永遠の役……あたしには解ってたんだ。

Bits
13

女優B
わかるもんか。

女優A
ニーナよ、「かもめ」、凶星だろ。

女優B
違うったら。

女優A
『ニーナ！ わがいとしのニーナ……わたしはトリゴーリンです』。
トリゴーリン!?! やめてよ、気持ちわるい。男役なら仙太の方が
ずっといいわよ。

女優A
やんなさいよ、ほら！ 『ああ、すてきな湖……』ほーらッ。

女優B
『このすてきな木立……すてきな大空』。

女優A
その調子……。

女優B
『女優になれるんなら、屋根裏住まいをしてもかまいやしない。

その代り、わたしは要求します、名声を……』。

『割れ返るような名声を……』。

女優B
「バサッ」。

女優A
「バサッ」って？

Bits
14

女優B
かもめよ、トレープレフさんが射ったの。

女優A
『きれいな鳥だ』。(なにか書くマネ)

女優B
『なにを書いてらっしゃるの?』。

女優A
『いや、ちよつと題材が浮かんだもので……』。

女優B
『どの様な?』。

女優A
『かもめのように湖が好きで自由に幸せな娘を、退屈まぎれに破
滅させてしまう、男が現れる……』。

女優B
『まあ』。

女優A
『あなたのような若い女優さんには、ありがちな話です……』。

Bits
15

女優A
(冷笑を浮かべ)おや、ニーナその首の包帯はどうしたんだい? 男
のため命を断とう何て女優は最低だ。

女優B
ふん、黙って聞いてりゃ勝手なごたく並べちゃって、どうせあ

たしは女優失格なんだよオ！ そりゃあんたはいいさ。あんたのその傷は、時代つてものがけばけばしく飾り立ててくれるもんねえ……戦争が。兵器工場、女子挺身隊、空襲……なにせ世間さまは、戦争の傷あとには、結構甘い感傷を持つてらっしゃるからね。

女優 A

(凄んで) ちょっと、何をいいたいんだい。

Bits 16

女優 B

ま、凄んじやつて。

女優 A

いいたいことがあるなら、はっきりいいなさいよ。

女優 B

別に……ただあたしは、爆弾にやられた傷と庖丁の傷と、どっちが得か、よく考えてみようと思っただけさ。

女優 A

ふん、そういうもつてまわつた言い方が、戦後のリアリズムかい。

女優 B

へえ、そういう陰気な迫り方が戦前のリアリズム？

女優 A

うるさいわねえ、どぶねずみ！

女優 B

なにさ、とげねずみ！

たがいに、化粧台の上のものを投げ合う。次の瞬間、相手を無視して、それぞれのマークに励む。

長い間。

それぞれのマークがうまくいかなくて、前後して、カンシヤクをおこす。

Bits 17

長い間。

女優 A

ねえ。

女優 B

……。

女優 A

あたしつて、つまらないことにこだわるたち性質なんだけど……

女優 B

……とげねずみつてなあーに。

女優 A

とげねずみはとげねずみよ。

女優 B

そんなの、いるの？

女優 A

いるの？ あんたつて、いつだつてそういうトゲのあるきき方をしてあたしを傷つけるんだから……いますよ、実在するわよ、奄美大島に。

女優 A

どんな所にいるの？

女優 B

イモ畑。

女優A
イモ畑!? そう。住んでいる環境としたら、どぶねずみとあんまり大差ないわねえ、むしろ生活レベルは上くらい。

女優B
……（口惜しそうに見る）

Bits 18

その時、女優D（比較的若い）がひっそり入ってくる。なぜか胸に、大きな“まくら”をしつかりと抱き抱えている。足を止め、ぐるりと楽屋を見渡すと、そのまま、微動だにしないくなる。

もうお分かりと思うが、女優A・Bは死人なので女優Dには姿が見えない。

女優A・B、無遠慮にじろじろ観察する。

女優A
誰？

女優B
さあ、見たことのあるような顔だけど。

女優A
なあーに、あれ、まくらみたい。

女優B、女優Dの真正面にしゃがみこむ。

女優B
あ、思いつめている。

女優A
思いつめてる？

女優B
でなきや、熱でもあるのよ。まじないかしら、まくら。

女優A
なんの？

女優B
こう、抱いてると熱が下がる……。

女優A
聞いたことがないよ、そんなの。

女優B、さらにしつこく覗き込む。

女優A
ねえ、よしなさいったら。

女優B、戻りかける。

Bits 19

女優D
『ママ』。

女優B、ギョツとして立ち止まる。

女優D
『ママ、あたしの手紙読んでくれた？』。

女優B
手紙!?

女優A・B、顔を見合う。

女優D
『……あたし、やっと健康になれたのよ。あたしたちの仕事って、才能も大事だけど、なんだって健康でしょう。ムーア人の諺ことわざにもあるでしょう、良いまくらはよい眠りを確実にする……ママ、

あたしもう大丈夫……本当よ……』。

女優A・B、ポカンと見ていたが、あわててメイクに戻る。

Bits
20

女優B
ねえ。

女優A
うん？

女優B
あなたがママだったら、安心する？

女優A
しないねえ、多分。

女優D

『わたしは行くわ、ごきげんよう。あたしが大女優になったら観にいらして頂戴ね。約束してくださいさる？ ……人も、ライオンも、

鷲わしも、雷鳥らいちょうも、角を生やした鹿も……』。

女優A

ニーナのせりふよ。この娘こ……何めくりつ？

女優D

『つまり一切の生き物は、悲しい循環めぐりをおえて、消えさせた……もう何千世紀というもの、地球は一つとして生き物を乗せず、あの哀れな月だけがむなしく灯りをともしている』。

Bits
21

女優C、舞台より戻ってくる。

女優C

あ、かゆい、かゆい……。

入ってくるなり、かつらを取って、髪の毛をくしゃくしゃに

かく。

女優C

なに、あのうすバカ！ ぜんぜんプロンプが聞こえやしないじゃないの……おぼえてらっしゃる？ 『人もライオンもわしも雷鳥も角を生やした鹿も鷲も蜘蛛も水に棲む無言のさかなも海に棲むクジラも』……どうして、ここばかりトチるんだらう。海に棲むクジラではなくてヒトデ……ま、今日くらいのはいいんじゃない、クジラにしるヒトデにしる、とにかく海に棲んでるんだから……。

ふと、片隅の椅子に、まくらを抱いて凝じつとしている女優D

に気づく。

女優C

キー子……。

女優D

……（頭を下げる）。

女優C

黙っているからわからないじゃないの……いつきたの？ もういいの体の方？

女優D

ええ、おかげさまで。

女優C そう……（ふとまくらを見とがめて）どうしたの、それ。

女優D はあ、つまらないんですけど、プレゼントしようと思って。

女優C プレゼント？

女優D 座長さんプレゼントを持って来ました。あたし、もうすっかり健

康になったんです、だから。返して頂きたいんです。

女優C （ポカンとする）返すって、何を!?

女優D まあ、白っぱくれて。

女優C （不安になる）何か、預かった？なにを返せて言うの？

女優D ニーナの役です。

女優C え？

Bit 22

女優C ねえ、キー子……あなた、自分がなにを言っているか解っているの？

女優D ええ、もちろん。

女優C あのね。

女優D 病院の院長さんも退院だつて。長い間ご迷惑をかけたことはお詫びします。

女優C 病院へ帰りなさい。話にならないよ。キー子……ニーナの役はねえ、あたしなの、そして、あんたはわたしづきのプロンプターだつたの。こんなこといつちやなんだけど、あんたにはまだニーナの役がつくわけないでしょう。

Bits 23

女優D ……あたしがいけなかったんです。こんなチャンスに病気なんかしちゃつて……あたし、病院のベットで何通も手紙を書きました。お詫びの手紙……だつて、作者に申し訳なくつて。

女優A ……作者に申し訳ない？

女優D ええ、あたしのためにこんないい役を書いて下さったんですから。

女優C あなた、作者が誰だか解ってるんでしょうねえ。

女優D ……もちろんですわ。

女優C 115年前に死んじゃっているのよ。

女優D それ、たんなる噂でしょう。

女優C （愕然）噂!?

女優D おとといだったかしら、電話でお話ししたんです。

女優C 誰と!?

女優D チェーホフさんです。それで、電話を切る前にこうおっしゃったの……君の元気な舞台姿を見るのを楽しみにしてるって……。

Bits 24

女優C いかれてるわ。うやめよう!

女優D ですからあたし、明日からでも、ニーナの役……。

女優C そうはいかないわよ!!

Bits 25

女優D (黙って、まくらを差し出す)

女優C どういう意味?

女優D (無言で押しつける)

女優C いらなと言ったでしょう。あなた……まくらとニーナの役を交換しろっていうの!

女優D ……。

女優C どこからそんなキテレツな発想が出てくるのよ!

女優D だって、お疲れでしょう。

女優C 疲れてなんかいないわよ!

女優D いいえ、つかれてらっしゃるわ、とつても。疲労には何たって、休養と睡眠……。

女優C (オーバーに) やめてよ!! (落ち着いて) こんなもの……。

Bits 26

女優D、まくら女優Cに投げ捨てる。

女優C、飛びのく。

女優D (Cを睨めつけ、つぶやく) 座長の為にせっかく病室を予約しておいたのに。

女優C え? 何て言ったの?

女優D マンションへ帰っても話し相手もないし、ひどく寂しいって、あたし、つくづく思ったんです。人間には孤独が一番いけないんじゃないかって。

Bits 27

女優C あなた、それであたしを救おうと考えたわけ?

女優D 救うなんて、そんな大それた……座長さんはお歳なので……ニー

ナなんて役、とくに大変でしょう、それなのに、あたしの病気がらムリヤリ押しつけるようなかたちになって、本当に申し訳なくって……。

ニーナの役は、ただ若けりやいいってもんじゃないのよ……何て言うのかな、蓄積が必要な、いろんな蓄積……ある意味では孤独だって蓄積のひとつよ。あなたが何を言おうとこれから先、百回でも二百回でもニーナをやり続けるからね！ ばばあになったってかまうもんか……。

Bits 28

女優 A
もう、ばばあじゃない。

女優 C、女優 A の気配を感じて怪訝な顔。

女優 C
何か居るわよ!?

女優 D
やっぱり疲れてらっしゃるんだわ。

女優 C
出て行け!

女優 D
……（凝っと瞠める）。

（哀願するように）おねがい、帰って……本当に疲れてきたわ、ひとりにして。

女優 D
……（まくらを差し出す）。

女優 C
やめてったら!

女優 C、逆上して、女優 D を叩く。

女優 D、倒れる。

Bits 29

女優 C
大丈夫、しっかりして!

女優 C、女優 D を抱え起こす。

女優 D、女優 C の手を払いのけるようにして、立ち上る。

女優 C
殴る気はなかったのよ、大丈夫?

途端、女優 D、ぐらっと倒れかかる。女優 C、慌てて支える。

女優 C
しっかりして。

女優 D
あたし……健康ですから……まくら。

女優 C、足元のまくらを拾って渡す。

女優 D、ふらふら出入り口の方へ行く。

女優 C
どこへ行くの?

女優D なんとって、つかれには眠りが一番です。

女優C キー子。

 女優D、まくらを抱いて、出て行く。

女優C キー子。

 女優D、まくらを抱いて、出ていく。

 女優C、椅子にかける。

 女優A・B、意地悪い目で観察する。

 ややあつて——突然女優C、化粧台の上のティッシュペー

 パーの箱を力一杯たたきつける。

 それが、女優A・Bの方に飛んでくる。

 女優A・B、危うくさける。

 と、女優C、化粧台の上のいろんな物を次から次へと、壁や

 床へたたきつける。

 女優A・B、あわてて逃げまどう。

女優C ふざけんじゃないよ。まったく！ あんなチンピラ女優にバカ

 にされてたまるか！ ハハ……まくらと交換に役をくれ？ 背中

 の骨がガタガタいって笑っちゃうよ！

 また、物が飛ぶ。

Bits
30

 女優Bに命中。

女優B あつ。

女優A 大丈夫？

女優B なんだって、こつちばかり飛んでくるんだろ。

女優A まるで狙ってるみたい。

 女優C、ブランデーをグラスについであおる。

女優C ふん、あれがニーナをやるタマかよ！ あの、のろくさつとし

 た動作、上野動物園のカバだって、いざ水へ入るって時あ、もう

 ちよつとスパッと動くわよ、それがニーナだって、かもめだって、

 ハハ……。

 女優C、鏡の前に座り、外出用の簡単な化粧をはじめ。

 ふと、手を止めて、鏡を凝つと瞞める。

女優C ……キー子、あんた、相手が悪かったんだよ、まくらぐらいで

迫ったって、あたしや心臓にヒゲが生えてんだよ。女優三十年、だてに年齢はくっちゃいなんだよ……あんたなんて、体験したことはないだろ、この髪の毛の毛穴という毛穴からじわつと血が噴き出すような思い……あたしや何百回となく味わってんだよ……相手を刺すか、自分が死ぬか……あんた、人間がほれえるって聞いたことある？ わめくとかののしるとか、そんなんじゃないんだよ、吼えるんだよ……アパートのトイレにこもって……ひとり……一晩中……あれは人間じゃないよ、猛獣の吼え声だよ……のどがかわるたびに手洗い水を飲んで……吼えて吼えまくって……おかげで、前よりだんだん声が出るようになってさ……畜生
(長い沈黙)。

Bits 31

女優C
ふと、立ちあがると鏡に向かっていくつかポーズをとり。
……そりゃいろんなものを犠牲にしたさ、でもすべては 納得
ずく……これからもあたしは納得ずく……戦いは果てしなく、『鏡

の中の我が戦士……(グラスをかかげる)……たそがれの中にひとり……ゆらめく煙の焔の傍らに坐り、遙かなる昔のさまざまな戦争の場面を思う。数知れず名も知れぬ埋葬された兵士たち……戦闘のあと短い夢のような休戦のひととき……そのひまにいかめしい面持で活動する埋葬部隊……塹壕ざんこういっぱい積み上げられた死者たちの蒼白い顔……そして、わたしには再び見える、がつしりした兵士たちの隊列の組みつつ立ち現れるさまが、ふたたび聞こえてくる軍隊のリズミカルな足音が……』。

女優C「リリー・マルレーン」を歌い出す。
と、また女優D、まくらを抱いて、姿を見せる。
そして、入口の隅にひっそり立つ。

Bits 32

女優Dの顔、やや蒼ざめている。
女優A
見て。
女優B
あ、また、あのまくら女。
女優C、歌いながら出ていく。

女優D
……。

追おうとするが、茫然と見送る。

長い間。

女優D、ゆっくりと顔をあげると、楽屋の中に視線をめぐらす。

そんな女優Dの様子を、女優A・B、メイクの手を休めて眺める。

女優Dの視線、やがて女優A・Bの所へきてとまる。

一瞬、瞞め合い……次の瞬間、女優A・Bあわてて視線をそらし、メイクの作業にもどる。

女優D、女優A・Bの方へ、ゆっくり近づいてくる。

女優D

……(瞞める)……今晚は。

女優A・B、仰天して、椅子からころげ落ちる。

女優D

今晚は。

女優B

見、見えるの、あたしたちが。

女優D

ええ。

女優A

じゃ、あなたも……。

女優B

(女優Aに) さっきの、あれよ、よっぽど打ちどころが悪かった

女優D

のよ、かわいそうに。

女優D

あの。

女優A

はあ。

女優D

質問してもよろしいでしょうか。

Bits 33

女優D

悪かったのよ、可哀想に。

女優D

あの。

女優B

はあ。

女優D

質問してもよろしいでしょうか。

女優B

どうぞ。

女優D

あたし、感じていました。

女優A

なにを？

女優D

あなたたちの存在を。いつも声なき声のようなものが聞こえてい

ました、毎晩楽屋へ入ると。

女優B

声なき声？

女優D

ええ、低くささやくような……長いんですか、こうしてらっしゃ

るのが。

女優 A　　こうしてらっしゃる？

女優 D　　つまり、楽屋通いというか。

女優 B　　あたしは最近……こちらは古いのよ、とつても。見て、この傷、
空襲の時の……。

Bits
34

女優 D　　まあ、空襲ですか、太平洋戦争当時の。

女優 A　　あんまりジロジロ見ないで、博物館になったような気分。

女優 D　　でもそれからずっと？

女優 A　　なにも思いつめて通ってるわけじゃないのよ、他に行くところ
もないからなんとなく。

女優 D　　お疲れでしょう。疲れには何たって睡眠が一番……これ、使い古
しでなんですけど……（と、まくらを差し出す）。

女優 A　　（あわてて飛び退く）いいわよ。

女優 D　　二人しかいないんですか？

女優 B　　ごらんの通り、少なくともこの楽屋にはねえ。

長い間。

女優 D　　……解って来たわ。

女優 A　　へえ、何が。

女優 D　　何もする事がないんでしょう。

女優 A・B、無言。

女優 D　　ただそうやって、毎晩、自分勝手なメイクして出番を待っている
だけ、永遠にやってこない出番を待っているだけ……でしょう。

女優 A・B、無言。

女優 D　　バカバカしいと思いませんか？　こんなんだったら、まだ病院のベ
ッドにいる方がましです。

女優 A　　……そのうちに、あんたも慣れるよ、こうやって待つのが。

女優 D　　……これからあたしにも……長い夜が来るんですね。

Bits
35

女優 A・B、顔を見合わせる。

女優 A　　じきになれるわよ、時間のいろんな使い方は、あたしたちのやっ
てることを見てれば、参考になるし……。

女優 D　　でもあたし、思うんです、何かをやるべきだって。

女優 B　　何かはやってんのよオ！

女優D あたしの言ってる意味はそうじゃないんです。何か決めてちゃん
と……何ていうか、もつとこう、来たるべき日に備えるっていう
か。

女優B 来たるべき日？

女優D ええ、なにかの拍子で、出番がやってこないとも限らないし。

女優B ふん、はじめはそんな夢を持っていたわねえ、けど、来やしない
んだよ、そんなもの。

女優D ……あなた、やっぱり疲れてらっしゃるんです。

女優B よしてよ！

女優D いいえ、きっと疲れてるんだわ。(まくらで迫る)

女優B 畜生！ そういつて、あたしの役をとりあげようってんだろ。

女優A ちよつと。

女優B 何よ！

女優A あたしの役って、役なんか決まってるじゃないのよ。

女優B ……そうか。

Bits 36

女優D 今後ご迷惑をかけません、ひとりで、あたしなりにやって行きま
す、いつかやって来るかも知れない出番を待って……(突然「三
人姉妹」のイリーナのセリフ)……『ああ、不合わせなあたし、
……あたし働けないの、もう働くのはごめんだわ、沢山よ、もう
沢山……これまで電信係もしたし、今は市役所に勤めてるけど、
まわってくる仕事が片っ端から憎らしいの、バカバカしいったら
ありやしない』。

女優B 電信係とか市役所って？

女優A 三人姉妹のイリーナのセリフ。(Bに)ねえ……あたしたちには
太陽の光がふりそそぐ熟れた^うような真昼はないのよ。

女優B そうね、だったら、ちよつとばかり生活を変えてみるのも悪くな
いわねえ。

女優A まあねえ、三人にもなったことだし……。

Bits 37

女優A・B、どちらともなく顔を見合わせて、微笑する。

女優A あんた、マーシャやる？

女優B あんたはオリガ？

女優 A オリガ? まあいいわ。久しぶりの女の役。

女優 D あの……。

女優 B そんなまくらなんて捨てなさい、あんたはイリーナ、のぞみ通りでしょ。

女優 A 待つて、慌てることないわよ、時間はたっぷりあるんだから。乾杯しましょう。あたしたちの長い長い夜のために。

女優 B あたしたちの終わりなき稽古のために。

女優 D そして、あたしたちのもうやって来ない眠りのために。

三人、一瞬ん寄り添う立つ。

女優 B 『(マーシヤのセリフを言いながら酒瓶からグラスに酒を注ぎ二人に渡す)……まあ、あの音楽の響き……あの人たちは立ち去っ

て行く。わたしたちだけがここに残って、またわたしたちの生活を始めるンだわ、生きて行かなければ、……生きて行かなければ……』。

三人 かんばーい!

女優 B 歌い出す。

「(G) はなやかな (Am) 町……。

(G) まずしい (Am) 都……。

(C) 囚われの (E7) ところ……。

(F) あでやかなる (E7) 姿……。

(Am) あでやかなる (E7) 姿……。

(F) うゝ (G) うゝ (A) あゝ。

完

2019/04/06/sat